

令和7年 業種別署別労働災害発生状況 (7月末累計)

(新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く)

沖縄労働局

業種	令和7年(7月末累計)							令和6年(7月末累計)							局計対令和6年比較	
	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	増減数(人)	増減率(%)		
製造業	64	42	6	7	5	(0) 106	40	41	10	(1) 7	4	(1) 102	4	3.9		
食料品製造業	38	22	3	6	2	(0) 71	19	24	7	(1) 5	2	(1) 57	14	24.6		
鉱業						(0) 0						(0) 0	0	-		
建設業	30	35	12	4	2	(0) 83	48	(1) 41	(1) 10	(1) 8	2	(3) 109	▽ 26	▽ 23.9		
土木工事業	3	7	3	1		(0) 14	3	8	2		1	(0) 14	0	0.0		
建築工事業	17	21	6	1	2	(0) 47	38	(1) 27	(1) 5	(1) 8		(3) 78	▽ 31	▽ 39.7		
交通運輸事業	8	4				(0) 12	15				1	(0) 16	▽ 4	▽ 25.0		
陸上貨物運送事業	(1) 25	8	2	1	1	(1) 37	34	9				(0) 43	▽ 6	▽ 14.0		
港湾荷役業	4					(0) 4	1				1	(0) 2	2	100.0		
林業			1	1		(0) 2					1	(0) 1	1	100.0		
農業、畜産・水産業	5	2	(1) 3	2	1	(1) 13	1	5	3		1	(0) 10	3	30.0		
第三次産業 (運輸を除く)	212	(1)149	31	13	14	(1) 419	231	140	28	21	28	(0) 448	▽ 29	▽ 6.5		
商業	83	37	5	2	3	(0) 130	81	38	8	4	2	(0) 133	▽ 3	▽ 2.3		
小売業	54	32	4	2	2	(0) 94	49	30	6	3	1	(0) 89	5	5.6		
接客娯楽業	31	41	11	3	6	(0) 92	23	25	10	8	14	(0) 80	12	15.0		
旅館・ホテル	14	12	5	3	4	(0) 38	4	7	7	6	8	(0) 32	6	18.8		
飲食店	11	19	2			(0) 32	14	14	1		4	(0) 33	▽ 1	▽ 3.0		
保健衛生業	49	29	7	5	2	(0) 92	63	26	5	4	5	(0) 103	▽ 11	▽ 10.7		
社会福祉施設	28	24	6	3	1	(0) 62	53	21	5	3	5	(0) 87	▽ 25	▽ 28.7		
ビルメンテナンス業	11	7	2	1	1	(0) 22	15	15			2	(0) 33	▽ 11	▽ 33.3		
その他の業種	38	(1) 35	6	2	2	(1) 83	49	36	5	3	6	(0) 99	▽ 16	▽ 16.2		
全産業	(1)330	(1)240	(1) 55	(0) 28	(0) 23	(3) 676	(0)370	(1)236	(1) 51	(2) 36	(0) 38	(4) 731	▽ 55	▽ 7.5		

(注) 1. 労働者死傷病報告により作成したもの。
 2. 被災者数の枠の左側()は死亡者数で内数。
 3. 「▽」は減少を示す。
 4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。
 5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。
 6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜(と畜を除く)、官公署、その他の事業を示す。

令和7年死亡災害発生状況 (7月末現在)

(新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く)

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数(規模別)	発生状況
1	那覇	墜落・転落	フォークリフト	一般貨物自動車運送業	3月上旬	50歳代	300~	オーダーピッキングトラックフォークリフトのフォークに乗せたパレットの上で荷を扱っていたところ、高さ1m58cmから墜落したものを。
2	沖縄	転倒	その他の環境	その他事業	4月下旬	60歳代以上	300~	イベントで、ヘリコプターの離着陸の様子をビデオ撮影していたところ、ヘリコプターの吹きおろしの風に煽られて転倒し、頭部を打撲し病院搬送後死亡したものを。
3	名護	おぼれ	建築物、構築物	畜産業	4月下旬	40歳代	1~9	汚水原水槽の汚水を、ホースで浄化槽に移すため、当該浄化槽の幅17cm程度のヘリ上で、付近の塩ビパイプにホースを巻き付け固定しようとした際、劣化していたホースが千切れ、その反動で浄化槽内に墜落し、槽内でおぼれたものを。

※死亡災害報告(速報)によるため、労働者死傷病報告にて集計している労働災害発生状況の死亡者数と一致しないことがある。
 ※記載された情報は今後の調査により修正される場合がある。

令和7年度 沖縄県産業安全衛生大会



特別講演

「碧き国琉球のコミュニケーション術」

講師 賀数 仁然 氏 (琉球歴史文化研究所クボウブランド)

10月10日(金) 14:00~ 会場 ラグナガーデンホテル